

みんなで もりをつくるには

もりづくり
～自然体験活動の指導者のための森林再生活動教育プログラム～



林野庁 北海道森林管理局
石狩地域森林ふれあい推進センター

森林は、長い時間をかければ自然に成長します。

いちど壊された森林を再生するために、

人が少し手を貸してあげれば、

その時間を短縮できると思います。

私達は、

100年前の森林を復元するために、

市民と一緒にあって

自然な再生に手助けしようと

活動しています。





第1章 森林づくりって何だろう …………… 1

森林のめぐみ …………… 2
森林に手助けできること …………… 3
植物が生きていく工夫 …………… 4
自然から学ぶ適地・適木の原則 …………… 5
森林を育てることの難しさ …………… 6

第2章 森林づくりをすすめるには …………… 7

森林づくりのカレンダーをつくる …………… 8
種子を拾い、苗木を育てる …………… 9
森林に木を植える …………… 10
木の成長を手助けする …………… 11
野幌自然環境モニタリング調査 …………… 12

第3章 「野幌森林づくり塾」の事例 …………… 13

種子を拾おう …………… 14
もっと森林のことを知ろう …………… 16
下草刈りはなぜするの …………… 18
樹木と動物の共存 …………… 20
虫を見て森林の状態を知ろう …………… 22
移入種は森林の敵ですか …………… 24
森林の成長を見よう …………… 26

第4章 森林づくりリーダーの
活動を続けるために…………… 27

森林づくりリーダーをめざすには …………… 28
ボランティア活動の継続性を保つには …………… 29
森林づくりの参考文献 …………… 30



発刊にあたって

野幌森林公園は、札幌の都市近郊林として多くの方々から愛されています。平成16年に北海道を襲った台風によってこの森林のたくさんの木が倒れました。

この公園を利用する多くの方が、この森林の行く末を心配しました。

現在この森林では、利用者の皆さんと一緒に森林再生活動に取り組むために、風に強く百年前の原始性が感じられる森林づくりを目指し、野幌森林再生プロジェクトを実施しています。このプロジェクトでは、森林再生に個人で参加したり、団体で取組んだりしながら森林の再生を市民と協働で実施しています。

その中で、野幌の森林を楽しみ学ぶ取組みとして実施しているのが「野幌森林づくり塾」です。

野幌の美しい景色や豊かな自然が少しでも早く元に戻る手伝いをしたい、森林づくりを通じて、森林や自然の仕組みをより詳しく学ぼう、植えて育てるだけでなく、一歩進んだ森林づくりをしようという目的を持って「野幌森林づくり塾」を始め、この5年間に塾生の皆さんと一緒に実施した色々な試みをこれから森林づくりをされるの方々のお役に立てればと考え今回この冊子にまとめました。

本書の内容は、私達が国有林野で事業として実施しているものとは方法が異なる部分もあります。これは目的の違いによるもので、市民の皆さんが行うことを想定してこの本を編集しました。

森林づくりを始める時、不安や戸惑いを感じられることもあるかと思います。そんな時には、石狩地域森林環境保全ふれあいセンターへ声をかけて下さい。皆さんの活動を支援いたします。

最後になりましたが、本書の発行に当っては、編集委員会の委員の方々や実際の「野幌森林づくり塾」のスタッフとして加わっていただいた多くの方々に献身的なご協力をいただきました。

この場をお借りして皆様方に厚くお礼を申し上げます。

林野庁 北海道森林管理局
石狩地域森林環境保全ふれあいセンター

所長 志鎌 睦